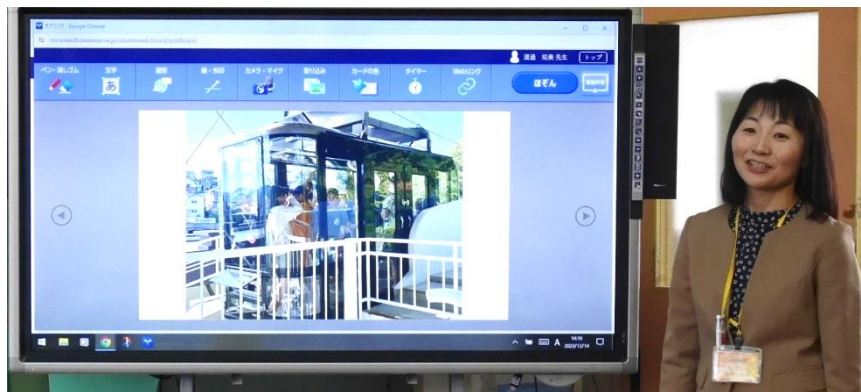


スーパーティーチャーによる1人1台端末を活用した 授業公開研修



唐津市立成和小学校 スーパーティーチャー 渡邊 知美 教諭

単元名：場合を順序良く整理することを学び、長崎（出島）への
いろいろなルートを見つけよう

（小学6年算数科）

ICT活用のポイント

- ・ ノートに記述した自分の考えを、カメラで撮り全体で共有する。また、他者参照することで自分の考えを深める参考にし、意欲的に学びに向かうことができる。
- ・ ヒントカードや応用問題を必要とする児童に渡すことで、個に応じた学びの保証を行う。

本時の目標

- ・ 出島への行き方を考えることを通して、場合の数について調べていくという単元の課題をつかむ。
- ・ いくつか選んで組み合わせるときの場合の数が何通りあるかを順序よく整理して求めることができる。

導入

①学習課題を捉え、単元の流れや身につく力、単元のゴールを確認する。

表示機能（1人1台端末）

<学習課題>

場合を順序良く整理することを学び、長崎（出島）へのいろいろなルートを見つけよう

展開

②問題の意味を理解し、解決の見通しをもつ。

<めあて> 組み合わせが何通りあるかを考えよう

③自力解決に取り組む。

書き込み機能、カメラ機能（1人1台端末）

④全体で交流する。

一覧表示機能（電子黒板）
共有機能（1人1台端末）

まとめ

⑤本時のまとめをする。

<まとめ> 重なりや落ちが無いように組み合わせをすべてを見つけるには、樹形図やリーグ表を使うとよい。

⑥振り返りをする。

⑦適応問題に取り組む。

スライド機能（1人1台端末）

・落ちや重なりが無いように調べる方法を考えようとしている

【主】（観察・ノート）

・図や表を使って、落ちや重なりが無いように組み合わせ方を調べて場合の数を求めることができる。 【知・技】（スライド機能）



←「SAGA Eコネクト」サイトではたくさんの事例を紹介しています。

<https://www.saga-high-school.jp/e-connect/>



学校と長崎の位置を表示

①学習課題を捉え、単元の流れや身につく力、単元のゴールを確認する。

【表示機能(1人1台端末)】

見 写真や地図をみて、自分たちで調べたいという思いをもつことができる。

<学習課題> 場合を順序良く整理することを学び、長崎(出島)へのいろいろなルートを見つけよう



端末に考えをまとめる児童

③自力解決に取り組む。

【書き込み機能・カメラ機能(1人1台端末)】

見 ノートに書いたり、端末に書き込んだり、自分に合った方法で考えをまとめることができる。



ヒントを基にノートにまとめる児童



カメラで撮影

見 ノートにまとめた考えもカメラ機能を使うことで共有できる。

教 必要とする児童にヒントカードを送ることで考えの手助けができる。



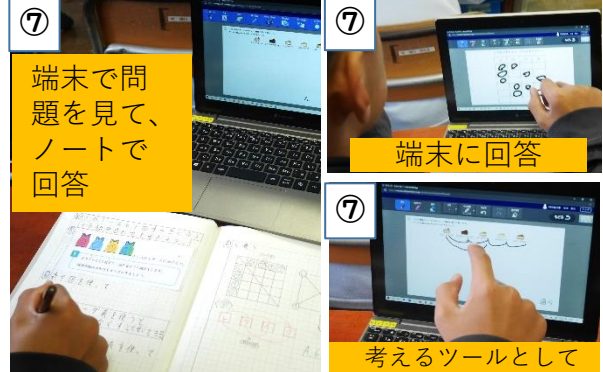
一覧表示



手元で確認

④全体で交流する。【一覧表示機能(電子黒板)、共有機能(1人1台端末)】

見 手元の端末で他者の考えを確認することができ、自分の考えを深めることができる。(他者参照)



端末で問題を見て、ノートで回答



端末に回答



考えるツールとして

⑦適応問題に取り組む。

【スライド機能(1人1台端末)】

見 端末を考えるツールとして活用することで、図を動かしたり書き込んだりして試行錯誤することができる。

教 児童の回答をすぐに確認でき、指導や評価に生かすことができる。

児童それぞれが端末を使ったりノートを使ったりと、自分のやりやすい方法を選択し主体的に学ぶことができる素晴らしい授業でした。参観した先生方から次のような声が聞かれました。

- ・ICT端末をどのように授業の中に取り入れているのか、どのように設計していけばよいのかがとても分かりやすかったです。
- ・単元づくりが素敵でワクワクしました。
- ・算数科の授業で、ICT機器を大いに活用されている姿を見て驚きました。算数でICTを使うのは難しいと思っていたので、今度自分も意見を出し合う場面などで使用したいと思います。